

心理学関連の検定問題について

大澤 貴光 (21811060to@tama.ac.jp)

1 目的と研究の背景

心理学にはいろいろな種類の検定があり、難易度もさまざまである。

今回複数の検定問題を試行し、その難易度と学力向上策をはかる。

2 内容

心理学検定・臨床心理士認定試験の過去の問題から 100 問を抽出し、実際にその問題を解くこと
によって一般の大学生が受験したときにどれくらい正答できるかを測定する。

また、成績向上のためにはどのような施策が有効か検討する。

3 方法

対象 大学生 5 名

実施方法 Google forms にてテストを作成

4 結果

一人目 42 点

二人目 22 点

三人目 24 点

四人目 23 点

五人目 26 点

5 考察

一人目の回答者は制作者本人であり、明らかにほかの回答者より点数が高かった。これは解答
を覚えていたことも考えられるが、自分で問題を制作したことによる学習の効果があったと考えら
れる。心理学を勉強することがあまりないため点数が伸びなかったがこれを機に心理学の面白さ
を知り興味を持つ人が出てくる可能性がある。